

令和3年度活動報告

安塚区地域おこし協力隊 林 克彦





日々の取り組み (六夜山荘)

- 日常業務
 - 宿泊施設「六夜山荘」で支配人と共に利用予約の管理、清掃、施設周辺の草刈り、除雪等の維持管理など施設運営全般に関わっている
 - 集落から経理関係の業務を一本化したいという要望があり、これまで複数人で対応していた会計処理、給与計算等の事務作業も担当している
 - 指定管理施設としての定例報告や随時調査報告も対応している。管轄の浦川原区総合事務所からは財政状況の透明化が進んだことを評価されている
 - 最近では補助金を活用する機会も多く申請書類の作成作業も増えている



写真は料理指導中のものです



日々の取り組み (六夜山荘)

- 宴会、宿泊対応
 - 六夜山荘の「顔」として、お客様と直接対面する接客業務は原則として平日、休日を問わず出勤して全て対応している
 - 料理についても厨房に立ち、提供する機会も多い



日々の取り組み (六夜山荘)

- 仕出し
 - 新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて減少した売上を少しでも回復させるために赴任1年目に開始した折詰、弁当等の仕出し業務を2年目も継続。六夜山荘の収入源の1つとして定着した
 - 仕出しで使用する容器等の発注管理も担当し、日々の在庫管理も行っている
- 出店
 - 六夜山荘で初めての試みとして、安塚区の農産物直売所「雪だるま物産館」に出店、虫川大杉駅で開催された大浦安げんき市にも参加し、細野集落の散策マップやパンフレットを配り、六夜山荘の認知度アップに取り組んだ



日々の取り組み (六夜山荘)

- イベント

- 日常業務の合間に集落の方々と企画を練り、今年度は地域活動支援事業の採択を受けて「ほその村手ぶらでキャンプ」を開催。メディアにも取り上げられたおかげで遠くは新潟市からも利用客が訪れ、日常から離れた田舎の夜を楽しんでいただいた
- 近隣の集落にお住いのそば打ち名人にご協力を仰ぎ「そば祭り」を開催。当初の予想より2倍以上の販売数になり、名人には「売れすぎて申し訳ありません」と頭を下げることになった
- 他にも稲刈り体験、スノーシュー体験等のイベントを企画し、実施に向けて取り組んだ



日々の取り組み (集落支援)

- 農作業
 - 田植えから収穫の時期まで、集落が管理する棚田での米作りに協力した
 - 週末など六夜山荘の営業と重なる日が多く関われる作業は限られてしまったが定期的に行われる草刈りにも参加して作業させていただいた
- 集落イベント
 - 集落総出で毎年行われていた「ほその村 春の祭典」は今年も中止になるも「灯の回廊」は今年も継続。当日は宿泊客がありゆっくりと眺めることはできなかったが、ポスターに六夜山荘前の景色が採用されたおかげで多くの見物客に足を運んでいただき、賑わっていた



その他の取り組み (個人活動)

- 地域おこし協力隊の業務とは別に個人活動として参加
 - 雪だるま物産館でのボランティア活動
 - 毎年恒例の「秋まつり」にボランティアとして商品販売や交通整理、力仕事で協力。近年稀に見る大盛況だった
 - 祭事（賽の神、春の祭礼、秋祭り）
 - 地元の行事にも参加。賽の神は最近少なくなった夜の点火で、柏崎から写真を撮りに来られる方もいた
 - 米づくり
 - 集落の方に場所をお借りして米づくり。今年はイノシシに田を荒らされ、約0.5俵の収穫だった

1年間を通して感じたこと

- 六夜山荘の一員として、高齢化や集落の人口減で六夜山荘の業務に従事できる人員も減っているなかで、運営を維持することができた
- 新型コロナウイルスの感染拡大前には集客や収益の柱として頼みの綱だった団体利用がなくなり、今後は学生、企業等との新しい繋がりを作ることが必要（利用者だけでなく運営の協力者としても外部の力がある）だと感じている
- 六夜山荘だけで十分な利益が出るようになれば良いが、現状では非常に厳しいため、地域や周辺の人と新しい取り組みについて検討していきたい